

【編さん委員】

会長

(市助役)

副会長 高倉 洋彰 (西南学院大学)

顧問 川添 昭二 (九州大学名誉教授)

委員 有馬 学 (九州大学)

磯 望 (西南学院大学)

梶原 良則 (福岡大学)

小西 信二 (太宰府天満宮)

佐伯 弘次 (九州大学)

長 洋一 (元西南学院大学)

森 弘子 (福岡県文化財保護審議会)

無形・民俗文化財部会委員)

【資料室職員】

室長 和田 有司 (市秘書広報課長)

嘱託 重松 敏彦

朱雀 信城

内山 一幸

編集後記

『年報太宰府学』創刊号をお届けします。『太宰府市史』全十三巻十四冊の編さん・刊行を終えて、太宰府市市史編さん室も、市史資料室と改称されてまた新たな歩みを始めました。それと時を同じくして太宰府学研鑽の場として、小誌は誕生しました。

本号において、市史編さんにあたって編集委員長をお務めいただいた川添昭二先生には「創刊の辞」をご執筆いただいたばかりでなく、小誌創刊に祝意を表されて、「大宰権少式原田種直」のご寄稿もいただきました。先生にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

また「昭和戦後期の太宰府と政治」は、元太宰府市長有吉林之助氏への聞き取り記録です。その内容の一部は、すでに市史通史編Ⅲの叙述にも生かされていますが、今回は、その全体を活字化して公開することにしました。この件について、ご快諾をいただきました有吉氏にも厚くお礼を申し上げます。

重松の「古代における『ダザイフ』の表記について」は、些細な問題ではありますが、太宰府にとつては基本的な命題である「ダザイフ」表記について検討を加えたものです。それぞれにご味読ください。

こうして、とにもかくにも『年報 太宰府学』は創刊されました。今後、小誌が太宰府学を明らかにしていく場として、豊かな実りをもたらすことができるように努めることをお約束して、編集後記にかえることにしたいと思います。

(S)